



Cisco Unity Connection Serviceability の概要

この章では、Cisco Unity Connection Serviceability の基本情報について説明します。この章の構成は、次のとおりです。

- [Cisco Unity Connection Serviceability の概要 \(P.1-2\)](#)
- [管理者ワークステーションでのブラウザの設定 \(P.1-3\)](#)
- [Cisco Unity Connection Serviceability へのアクセス \(P.1-5\)](#)
- [Cisco Unity Connection Serviceability インターフェイスの使用 \(P.1-6\)](#)

Cisco Unity Connection Serviceability の概要

Cisco Unity Connection Serviceability は、Cisco Unity Connection の Web ベースのトラブルシューティング ツールです。次の機能があります。

- Connection アラーム定義の表示。これは、トラブルシューティングに使用できます。
- Connection トレースの有効化。Real-Time Monitoring Tool (RTMT) で、トレース情報を収集して表示できます。
- Connection トレース情報を保存するログの設定。
- クラスタとサーバの管理 (Connection クラスタが設定されている場合)



(注) Connection クラスタ機能は、Cisco Unified Communications Manager Business Edition では使用できません。

- Connection 機能サービスのステータスの表示。
- Connection サービスのアクティベート、デアクティベート、起動、および停止。
- さまざまなファイル形式で表示できるレポートの生成。

使用するサービスとコンポーネントによっては、Cisco Unity Connection Serviceability と Cisco Unified Serviceability の両方でサービスアビリティ関連のタスクを実行する必要があります。たとえば、問題をトラブルシューティングするには、両方のアプリケーションで、サービスの起動や停止、アラームの表示、およびトレースの設定が必要です。

Cisco Unity Connection Serviceability は、『Cisco Unity Connection サービスアビリティ アドミニストレーションガイド』で説明されている機能をサポートしています。Cisco Unified Serviceability の使用方法については、『Cisco Unified Serviceability アドミニストレーションガイド』を参照してください。

管理者ワークステーションでのブラウザの設定

Connection サーバまたは Cisco Unified CMBE サーバの Cisco Unity Connection Serviceability、Cisco Unity Connection の管理、Cisco Unified Serviceability、Disaster Recovery System、およびその他の Web アプリケーションにアクセスするには、管理者ワークステーションでブラウザを適切に設定する必要があります。

コンピュータにインストールされているブラウザに応じて、次の該当する項を参照してください。

- [Firefox \(P.1-3\)](#)
- [Microsoft Internet Explorer \(P.1-3\)](#)

Firefox

Connection Web アプリケーションにアクセスできるように Firefox を設定するには、次の作業を行います。

1. 適切なブラウザ設定に必要なソフトウェアがインストールされていることを確認します。次の該当する要件ドキュメントの「ソフトウェア要件：管理者ワークステーション」の項を参照してください。
 - 『Cisco Unity Connection システム要件』。このドキュメントは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_installation_guides_list.html から入手可能です。
 - 『Cisco Unity Connection システム要件 Cisco Unified CMBE 対応』。このドキュメントは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps7273/prod_installation_guides_list.html から入手可能です。
2. Firefox を次のように設定します。
 - a. Java を有効にする。
 - b. [JavaScript を有効にする] > [JavaScript 詳細設定] で [画像を別のものに置き換える]。
 - c. cookie を有効にする (セキュリティのため、[元の Web サイトからの cookie のみ保存する] に設定することをお勧めします)。

Microsoft Internet Explorer

Connection Web アプリケーションにアクセスできるように Internet Explorer を設定するには、次の作業を行います。

1. 適切なブラウザ設定に必要なソフトウェアがインストールされていることを確認します。次の該当する要件ドキュメントの「ソフトウェア要件：管理者ワークステーション」の項を参照してください。
 - 『Cisco Unity Connection システム要件』。このドキュメントは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_installation_guides_list.html から入手可能です。
 - 『Cisco Unity Connection システム要件 Cisco Unified CMBE 対応』。このドキュメントは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps7273/prod_installation_guides_list.html から入手可能です。
2. Internet Explorer を次のように設定します。
 - a. アクティブ スクリプトを使用可能にする。
 - b. ActiveX コントロールをダウンロードして実行する。
 - c. Java スクリプトを使用可能にする。

- d. すべてのクッキーを受け入れる。
- e. 保存しているページの新しいバージョンを自動的に確認する。
- f. [中 - 高] プライバシーを使用可能にする。
- g. Microsoft Windows Server 2003 を実行しており、Internet Explorer バージョン 6.0 を使用して Cisco Personal Communications Assistant にアクセスする場合は、次の「[信頼済みサイト] のリストに Connection サーバまたは Cisco Unified CMBE サーバを追加する (Windows Server 2003 で Internet Explorer 6.0 を使用する場合のみ)」の手順を実行して、[信頼済みサイト] のリストに Connection サーバを追加する。

[信頼済みサイト] のリストに Connection サーバまたは Cisco Unified CMBE サーバを追加する (Windows Server 2003 で Internet Explorer 6.0 を使用する場合のみ)

-
- ステップ 1** Cisco Personal Communications Assistant の [ログイン (Login)] ページを開きます。Cisco PCA にログインする必要はありません。
 - ステップ 2** Internet Explorer の [ファイル] メニューで、[このサイトを追加] > [信頼済みサイトゾーン] をクリックします。
 - ステップ 3** [信頼済みサイト] ダイアログボックスで、[追加] をクリックします。
 - ステップ 4** [閉じる] をクリックして、[信頼済みサイト] ダイアログボックスを閉じます。
 - ステップ 5** Internet Explorer を再起動します。
-

Cisco Unity Connection Serviceability へのアクセス

Cisco Unity Connection Serviceability に初めてログオンするときは、インストール中にインストーラが指定した、デフォルト管理者アカウントのユーザ名とパスワードを使用します。その後は、追加で作成した任意の管理者アカウントのユーザ名とパスワードを使用できます。

Cisco Unity Connection Serviceability にアクセスする

-
- ステップ 1** サポートされているブラウザを使用して、ブラウザセッションを開きます。
 - ステップ 2** `https://<Cisco Unity Connection サーバの IP アドレス>/cuservice` に移動します。
 - ステップ 3** 適切なユーザ名とパスワードを入力し、**[ログイン (Login)]** をクリックします。
-

Cisco Unity Connection Serviceability にログインした後は、Cisco Unified Operating System Administration および Disaster Recovery System を除き、[Navigation] ドロップダウン ボックスに表示されるすべてのアプリケーションに、それぞれのアプリケーションにログインすることなくアクセスできるようになります。

Cisco Unity Connection Serviceability のユーザ名とパスワードを使用して Cisco Unified Operating System Administration または Disaster Recovery System にアクセスすることはできません。これらのアプリケーションに Cisco Unity Connection Serviceability からアクセスするには、Cisco Unity Connection Serviceability の右上にある [Logout] リンクをクリックした後、[Navigation] ドロップダウン ボックスでそのアプリケーションをクリックし、[Go] をクリックします。

[Navigation] ドロップダウン ボックスに表示されるアプリケーションのいずれか (Cisco Unified Operating System Administration または Disaster Recovery System 以外) にすでにログインしている場合は、ログインせずに Cisco Unity Connection Serviceability にアクセスできます。[Navigation] ドロップダウン ボックスで [Cisco Unity Connection Serviceability] をクリックし、[Go] をクリックします。

Cisco Unity Connection Serviceability インターフェイスの使用

Cisco Unity Connection Serviceability でのトラブルシューティング、レポートの生成、サービス関連タスクの実行に加えて、次のタスクを実行できます。

- 単一ウィンドウ用にドキュメントを表示するには、[Help] > [This Page] をクリックします。
- このリリースの Connection または Cisco Unified CMBE で入手可能なドキュメントのリストを表示（またはヘルプの索引にアクセス）するには、[Help] > [Contents] をクリックします。
- このサーバ上で動作している Cisco Unity Connection Serviceability のバージョンを確認するには、[Help] > [About] をクリックするか、ウィンドウの右上にある [About] リンクをクリックします。
- 設定ウィンドウから Cisco Unity Connection Serviceability のホームページに直接移動するには、[Navigation] ドロップダウン ボックスから [Cisco Unity Connection Serviceability] をクリックします。
- Cisco Unity Connection の管理またはその他のアプリケーションにアクセスするには、[Navigation] ドロップダウン ボックスで該当するアプリケーションをクリックし、[Go] をクリックします。
- Cisco Unity Connection Serviceability からログアウトするには、ウィンドウの右上にある [Logout] リンクをクリックします。
- Cisco Unity Connection Serviceability 設定ページごとに、ページの右下の設定ボタンに対応する設定アイコンが表示されます（たとえば、タスクを完了するには、保存アイコンまたは [Save] ボタンのどちらをクリックしてもかまいません）。